

# 読

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

# 響

4つの絡み合う縦横の線、  
その斜め上に生まれる新たな世界

シューマン + ブラームス  
シューマン + ウェーベルン



©読響

音楽に熱い魂を込める世界的名匠

指揮 = 準・メルクル

Conductor Jun Märkl

ウェーベルン：パッサカリア 作品1  
Webern : Passacaglia op.1

シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 作品54  
Schumann : Piano Concerto in A minor, op.54

ブラームス (シェーンベルク編) :  
ピアノ四重奏曲 第1番  
(管弦楽版)

ト短調 作品25  
Brahms (arr. Schönberg) : Piano Quartet No.1 in G minor, op.25



© kei Uesugi

メキメキと頭角を現した期待の新星

ピアノ = 金子 三勇士

Piano Miyuji Kaneko

コンサートマスター = 小森谷 巧 Concertmaster : Takumi Komoriya

読売日本交響楽団 第544回 定期演奏会

2015

1/16 金 19時開演 サントリーホール

The 544th Subscription Concert Friday, 16 January, 2015 19:00 / Suntory Hall

S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C ¥3,600

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 協力：アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 [10:00-18:00 年中無休/年末年始を除く] <http://yomikyo.or.jp/> プレイガイド チケットぴあ、サントリーホールチケットセンター、e+

# 準・メルクルが 勝負曲で読響定期デビュー!

奥田 佳道 (音楽評論家)

すべてはこの曲から始まった。オペラとシンフォニーの分野をしなやかに行き来するマエストロ、準・メルクルの勝負曲が新春の定期演奏会を彩る。

新ウィーン楽派の始祖アルノルト・シェーンベルク(1874-1951)の編曲も鮮やかなブラームスのピアノ四重奏曲第1番短調作品25! ナチスの迫害を逃れてアメリカに移住していたシェーンベルクが、やはりアメリカに拠点を移していたオットー・クレンペラー(1885-1973)らの勧めによって「作曲」した気宇壮大なオーケストラ・ナンバーである。曲は1938年5月、そのクレンペラー指揮するロサンゼルス・フィルハーモニックによって初演された。烈しい響きも添えられたこのピアノ四重奏曲は、優れた指揮者が腕を揮った場合に限り、20世紀オーケストラ芸術の昇華となる。管弦打楽器の「響宴」が聴き手を魅了してやまない。

冒頭の勝負曲という言葉は、誠実な音楽づくりを身上とするメルクルに失礼かも知れない。マエストロの求心的な芸術観に寄り添った名曲と言い換えよう。

我らがメルクルは1998年4月のNHK交響楽団定期公演での歴史的な演奏を皮切りに、フランス国立リヨン管弦楽団、ライプツィヒのMDR中部ドイツ放送交響楽団、それにミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団などで指揮し(順不同)、ライプツィヒ、リヨンではシェフ就任を決定づけた楽曲ともなる。つい最近もマドリードのRTVEスペイン放送交響楽団で披露したばかりだ。

メインディッシュを導く調べもファンを喜ばせる。作曲家の環を映し出す、メルクルならではの好選曲だ。まずはシェーンベルク門下のウェーベルン(1883-1945)。二人はバッハを愛し、パッサカリヤなど変奏の筆致にもこだわった。開演を告げるウェーベルンの作品1に遅れなきよう。続いてブラームスの才能を見出したドイツ・ロマン派の化身シューマン。C-H-A-A(ドシララ)という主題にクララ(Clara, 愛称Chiara, Chiarina)への想いも舞うピアノ協奏曲(1845/46年初演)を弾くのは、ハンガリーと日本の美質を受け継ぐ鍵盤の貴公子、金子三勇士である。ロマンへの憧憬に満ちた、みずみずしい音色を紡ぐのではないか。

早くも喝采が聴こえるかのよう。50歳代半ばを迎えた準・メルクル、読売日本交響楽団の定期演奏会に初登場!



準・メルクル(指揮) Jun Märkl: Conductor

©Jean-Baptiste Millot

幅広いレパートリーで、国際的に活動を続ける俊英指揮者。ハノーファー音楽大学を経てチェリビダツケに師事し、バーンスタインや小澤征爾らに学ぶ。1993年ウィーン国立歌劇場に「トスカ」でデビューし成功を収め、以後同歌劇場の常連として数々のオペラを指揮。その後、マンハイム国立劇場の音楽監督、フランス国立リヨン管とライプツィヒ放送(MDR)響の首席指揮者を歴任した。オペラでは、英国ロイヤル・オペラ、メトロポリタン・オペラ、ドレスデン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン国立歌劇場などに出演。コンサートでは、ミュンヘン・フィル、ハンブルク北ドイツ放送響、パリ管、ボストン響、シカゴ響などに客演。国内では、新国立劇場のワーグナー「ニーベルングの指環」で圧倒的な成功を収めた。NaxosやALTUSレーベルなどから数々のCDをリリース。2013年から国立音楽大学の招聘教授に就任。



©K. Miura

金子 三勇士(ピアノ) Miyuji Kaneko: Piano

ピアノ界の次代を担う新星として注目を集める新進気鋭のピアニスト。6歳で単身ハンガリーに留学し、11歳に国立リスト音楽院大学(特別才能育成コース)に入学。バルトーク国際ピアノコンクールなど数々の国際コンクールで優勝。ヨーロッパやアジアの主要諸国で演奏活動を行い、国内外問わず活躍の幅を広げている。読響とは、2013年にカンブルラン指揮でバルトークの協奏曲第3番で共演し、絶賛を博した。2014年には、コチシュ指揮ハンガリー国立フィルと共演。ソニー、エクストンレーベルなどからCDをリリースしている。

読売日本交響楽団 第544回 定期演奏会

2015年 **1/16** 金 19時開演

サントリーホール

S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C ¥3,600

東京都港区赤坂 1-13-1 TEL: 03-3505-1001 (オフィス)

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分、銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

●学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

●団体割引: 読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

●都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ●未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時-18時・年中無休/年末年始を除く

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

※座席選択してチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)  
※郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017、イープラス <http://eplus.jp/>